

報道関係者各位  
プレスリリース

学校法人文化学園 文化服装学院  
一般財団法人ニッセンケン品質評価センター

文化服装学院学生が交通事故から子ども・児童を守る「おしゃれな高視認性安全服」を制作

## 最優秀作品を決める最終審査会を開催します

日時：2019年11月27日（木）9:50～11:40 会場：文化服装学院

ファッション業界の人材を育てる学校法人文化学園 文化服装学院（学院長：相原幸子）と繊維製品等の第三者評価機関 一般財団法人ニッセンケン品質評価センター（理事長：駒田展大）は、【ファッションで子ども・児童を交通事故から守る】というテーマで、同学院学生による「子ども・児童用 高視認性安全服」の作品制作、及び作品展示等を通じた高視認性安全服普及のためのコラボレーションに取り組んでいます。今年で3年目となります。

11月3日～5日に開催された同学院の文化祭で制作発表を行い、その際、一般来場者の人気投票（有効投票数992票）を実施しました。そして11月27日に開催する最終審査会では、人気投票で10位までに入った作品の中から今年度のグランプリ（最優秀作品）を決定いたします。

報道関係の皆様は、この機会にぜひ取材をしていただきたくお願いいたします。

### ①最終審査会の概要について

日時：2019年11月27日（水）9:50～11:40

会場：文化服装学院 B201ホール（B館20階）（東京都渋谷区代々木3-22-1）

アクセスURL：<https://www.bunka-fc.ac.jp/about/access/>

内容：開会式、選抜10チームによる最終プレゼンテーション、審査会及び審査結果発表・表彰式

### ②マスコミの皆様への取材対応について

- ・審査会終了後11時40分から30分間で、上位3チームの学生の記念撮影及び、囲み取材の時間を設けています。
- ・お手数ですが、審査会の取材をしていただける皆様は11月22日（金）までに、下記問い合わせ先までお申し込みをお願いいたします。なお、当日は9時30分より正面ロビーに誘導係を配置していますので、お声がけください。

本件に関するお問い合わせは以下までお願いいたします

#### ①学校法人文化学園 文化服装学院 教務部教務一課 宇都宮愛

〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 Tel：03-3299-2203 / E-mail：[utsunomiya@bunka.ac.jp](mailto:utsunomiya@bunka.ac.jp)

#### ②一般財団法人ニッセンケン品質評価センター マーケティンググループ 企画広報課 滝口順司

〒111-0051 東京都台東区蔵前2-16-11 Tel：03-3861-2341 / E-mail：[pr-contact@nissenken.or.jp](mailto:pr-contact@nissenken.or.jp)

以上

(1) 本取組みの詳細

①おしゃれで、かわいい・かっこいい高視認性安全服制作に取り組む目的

高視認性安全服とは、反射材と蛍光生地を組み合わせにより昼間・夜間を問わず目立ち、ドライバーから歩行者をより見えやすくする衣類のこと。しかし一般的に販売・着用されている安全服は画一的なデザインが多く、特別な場合を除き、積極的に着用される機会があまり無いのが実態と言えます。

このコラボレーションでは、ファッションを専門に学ぶ文化服装学院の学生が独自の自由な発想で、【子どもが着たい、親が着せたいと思う、かわいい・かっこいい高視認性安全服（対象は6～8歳）】の制作に取り組みました。

さらに、将来のファッション業界を担う学生達が、ファッション性に加え、安全性をアピール製品に採り入れることの重要性を学んでもらうことも重要な要素となっています。



今年度の制作作品を文化祭で発表し、人気投票を実施

②2019年度の年間スケジュール

	内 容	実施日
授業	子ども・児童用高視認性安全服等の意義、規格に関する授業	5/30 (木)
プレゼンテーション	作品制作を控え、学生が市場調査の結果や安全服のデザインに関する企画プレゼンテーションを実施。その後、実際の制作に着手	7/5 (金)
文化祭	完成した作品を展示。一般来場者による人気投票を実施	11/3 (日) ～11/5 (火)
最終審査会	文化祭での人気投票で 10 位までに入った作品を対象にした最終審査会。各学生がプレゼンテーションし、最優秀作品等を決定	11/27 (水)

【人気投票の結果、最終審査会でプレゼンテーションされる 10 作品】※順不同、文字は作品テーマ

 <p>ocean mates</p>	 <p>ROKKU</p>	 <p>ハッピーハロウィンクリスマス</p>
 <p>Japanese Rainwear</p>	 <p>天気と安全と子供服</p>	 <p>安全を考慮した子供服</p>



成長と共に変化するレインウェア

雲の上のカウボーイズ

将来の夢

雨の日でもルンルンの安全！  
楽しい！テルテルポンチョ

③参加している学生について

同学院としての本取組みの位置付けは「産学連携コラボレーション」。対象はファッション工科専門課程ファッション工科基礎科1年生で希望者75名(21グループ)が制作に参加しました。

④審査員(敬称略)

消費者代表	南條 武	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会	東日本支部 支部長
	田近 秀子		標準化を考える会 代表
	柿本 章子		副会長
交通安全分野	加藤 重樹	一般財団法人 日本交通安全教育普及協会(協賛)	普及事業部 兼 企画部 部長
	服部 勝治	一般社団法人 日本高視認性安全服研究所(協賛)	理事・所長
繊維・ ファッション分野	中原 仁子	東レ株式会社(蛍光生地提供)	機能製品事業部 東京ユニフォーム課
	蓮見 隆哉	ユニチカスパークライト株式会社 (再帰性反射材提供)	営業部 部長
	宗形 浩一	ミドリ安全株式会社	理事 営業統括本部 ユニフ ォーム統括部 副部長 兼 アパレル事業部長
	亀田 英希	シンロイヒ株式会社 (蛍光塗料・蓄光塗料提供)	取締役 営業部長
	瀧川 歩	株式会社ナルミヤインターナショナル	ディレクター
	落合 慶子	株式会社 Knot	デザイナー
主催者	相原 幸子	学校法人 文化学園 文化服装学院	学院長
	野中 慶子		副学院長
	西平 孝子		ファッション工科専門課程 グループ長
	駒田 展大	一般財団法人 ニッセンケン品質評価センター	理事長

⑤主催 2 者について

学校法人文化学園 文化服装学院

1923 年に、わが国最初の服装教育の学校として認可される。以降約 100 年にわたって日本のファッション教育の中心的役割を果たしている。文化服装学院を巣立った卒業生は 30 万人以上。飛び立ったデザイナーたちは、日本のファッションを世界トップレベルまで押し上げ、その第一線で活躍し続けている。

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター

1948 年設立。繊維製品を評価する第三者試験機関。JIS や ISO 等の公的基準に基づき、衣類などが店頭で並ぶ前の事前試験を行う。評価項目としては、主に染色堅牢度、耐久性、機能性、さらに視認性や有害物質等に関する安全性全般。日本企業が取り扱う衣類等繊維製品の品質は世界トップレベルであり、これはひとえに繊維系第三者試験機関の功績とも言える。

(2) 高視認性安全服について

①高視認性安全服の概念

JIS (日本工業規格) T 8127 で定められている、「蛍光素材」と「再帰性反射材」を用いることで、日中・薄暮時・夜間を問わず、視認性を高めた安全服のことを指します。

同 JIS では、道路作業者が交通事故に巻き込まれないために着用するものとしており、反射材の面積や蛍光素材の色目が厳密に定められています。



②日本での高視認性安全服の課題

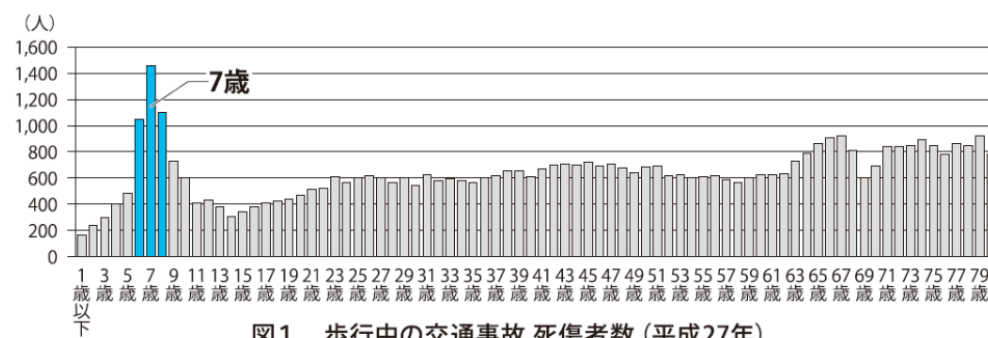
JIS T 8127 はあくまで成人を対象としているため、子ども・児童用にデザインすることが非常に難しいのが現状です。そのため、民間の団体が JIS を応用して子ども・児童も着用できるデザインの規格を発効しています。

③文化服装学院の取組みの特徴

JIS T 8127 等の規格に定められた基準に適合した蛍光生地 (提供: 東レ株式会社) と再帰性反射材 (提供: ユニチカスパークライト株式会社) を使用し、JIS 規格の細かな部分にはとらわれずに、自由な発想でファッション性の高い高視認性安全服を制作することにあります。

(3) 子ども・児童の交通事故について

交通事故件数は年々減少傾向にあるものの、年間約 50 万件あり、単純計算で 1 日約 1,400 件発生している。とりわけ歩行中の死傷事故は 7 歳の児童が約 1500 人と他の年齢と比べて極端に多くなっている。その原因として、公益財団法人交通事故総合分析センターでは「保護者から離れて歩行する機会が増えること」としています。下グラフは参考。



2017 年 3 月発行  
「イタルデザインフォーメーション  
交通事故分析レポート  
No.121」より抜粋  
発行:  
公益財団法人  
交通事故総合分析センター

図1 歩行中の交通事故 死傷者数 (平成27年)

以上